



©Yuki Asada

アフリカの真珠が生んだやさしいタオル

アフリカ最大の湖、ビクトリア湖と豊かな緑に恵まれたウガンダ。“アフリカの真珠”と讃えられるこの国は、高品質の綿花の産地としても知られる。

大阪府泉佐野市の株式会社スマイリーアースが製造するタオル“真面綿^{まじめん}”は、同国北部のグル県で化学肥料や農薬を全く使用せずに育てられたオーガニックコットンからできている。「タオルを製造する際の洗いの工程では、グル県産のオーガニックシアバターから当社が独自に開発した石けん^{まじけん}と水だけを使っています。化学薬剤は製造過程でほとんど使用しません」。そう話すのは、スマイリーアース代表取締役の奥龍将さんだ。

もともと、大阪府泉州地域の特産品・泉州タオルのメーカーだった同社がオー

ガニックコットン製品を手掛けるようになったのは、独立直後のウガンダに縫製工場を作り、国の発展に貢献してきた柏田雄一さんとの出会いがきっかけだ。

スマイリーアースでは、紡績から加工まで全ての製造工程を管理するため、当初の生産設備を一新し、“Smile工場^{スマイル}”を立ち上げた。丁寧に織り上げられた真面綿は、フランスのオーガニック綿製品認証を取得したオーガニック100%の製品だ。

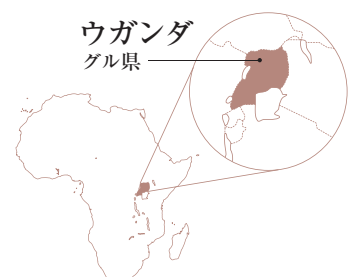
グル県の工場で、地元の労働者たちと綿の種取りをするなど、現地とのつながりを大切にする奥さん。「今後は、オーガニックコットンを通じたグル市と泉佐野市の国際交流にも取り組みたいと思います」と意気込む。



グル県の綿花農家を訪れた奥さん。離職農家を出さないための安定的な買い取りや、販路拡大のための品質改善指導などにも注力している

★ウガンダ産のオーガニックコットンタオルとシアバターを1人にプレゼント!→詳細は38ページへ

★スマイリーアースの商品販売情報は、
<http://www.smileyearth.co.jp/>でも発信中です。



ウガンダ
グル県